



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三条北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会長：金子太一郎

幹事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP:<http://www.sajo-nrc.org>

AD : north@sanjo-nrc.org

本日の行事：移動例会

漢学の里 諸橋轍次記念館

- ◆本日の出席：66名中39名
(内記帳10名)
- ◆先々週の出席率：66名中55名 83.33%
(前年同期 78.79%)
- ◆3月の出席状況：会員数66名・例会4回
平均出席率 81.82% (前年同月 77.27%)
- ◆先週のメイクアップ：(敬称略)
4月6日燕RC 山崎 勲、中條耕二
石川勝行
10日三条南RC 坂内康男
樋口 勲、中條耕二
- ◆本日の記帳受付 (敬称略)
三条RC 石橋育於、菊池 涉、阿部吉弘
五十嵐昭一、伊藤寛一、中村和彦
加藤紋次郎、斎藤弘文
三条南RC 松崎孝史、永桶俊一
佐藤秀夫、長谷美津明
佐々木常行、内藤豊大

会長挨拶：金子太一郎会長



皆さんこんにちは。
本日は移動例会ということで、私の方針の中で地元の公共施設をもっと知りましようということを挙げておりますが、その一環として本日、諸橋轍次記念館にお邪魔

させていただきました。
下田というと、「いい湯らてい」とか、「紅葉」とか「ゴルフ」とか行く機会が多いと思いますが、こちらの記念館には、なにかきっかけがないとお邪魔しないのではないかと思います。今回初めてお邪魔した方はどのくらいいらっしゃいますか。1/3の方が初めてですね。今回は、この記念館を私も含めてもっと理解しようと思い、武田委員長から企画してもらいました。
館長の嘉代様から直接、説明していただけるということで楽しみにしております。以前来たときはただ、さっと見ただけで良く覚えておりません。今回は良く理解できると思います。
先ほど食事した農家レストラン悟空もリニューアルされて4年目だと思いますが、私自身食事するのは初めてで、一度、食事がしたかったので、とっても良かったです。これを機会に、もっと下田地区を理解していきたいと思ひます。

さて、報告がありますが、先週の金曜日に市内7クラブの合同現・次年度会長・幹事会が松木屋で開催されました。

1クラブ4人が対象になりますが、その日は全員が

出席しまして、有意義な時間を過ごすことができました。会長や幹事を経験された方は、お分かりだと思ひますが、年に一回このような会でライオンズクラブさんとロータークラブの会長幹事が顔をそろえて会議をすることは素晴らしいことだと改めて思ひました。お互いのクラブの活動報告をするわけですが、それぞれの活動状況が良く分かってよかったです。お互いこの地域発展の為にも、情報交換が大切だと思ひます。それでは、嘉代館長様よろしくお願ひします。

漢学の里 諸橋轍次記念館

Tetsuji Morohashi Memorial Museum

〒955-0131新潟県三条市庭月434番地1

【お問い合わせ】TEL/FAX: 0256-47-2208

[HP] <http://www.city.sanjo.niigata.jp/shougaigakushu/kangaku/plant00001.html>

[e-mail] kangaku@city.sanjo.niigata.jp





武田恒夫プログラム委員長

皆さんご参加頂きありがとうございました。
お忙しところ、嘉代館長から説明、記念館の案内をして頂きます。
漢字・ひらがな、どちらも不得手ですが、今日は少し賢くなって帰りたい
と思います。限られた時間で申し訳ありませんが、宜しくお願い致します。



諸橋轍次博士の生涯

諸橋轍次記念館々長 嘉代 隆一 様

今日は、下田の当記念館までお越し頂きありがたく思います。
簡単に諸橋轍次博士の生涯を説明させて頂きます。

「訓導さま」と尊称される教育者の家で諸橋安平、シヅの次男として生まれました。
○博士の足跡

・明治 16 年（1883 年）6 月 4 日生～昭和 57 年（1982 年）12 月 8 日永眠

・四ツ沢村尋常小学校（旧荒沢小学校）→静修義塾→新潟師範学校→東京高等師範学校

○主な活動と業績

- ・教育者として 60 年間 群馬県師範学校（教諭）、都留文科大学（学長）
- ・漢学研究者（日本で、伝統的な中国文化を研究対象とする学問の総称）
中国留学、東京帝国大学より「文学博士」学位授与
世界最大『大漢和辞典』の編纂 全 13 巻

約 15,000 頁 5 万字の親字 約 50 万語の語彙（熟語）全 13 巻

大正 14 年（1925 年）大修館より依頼 昭和 18 年（1943 年）幻の第 1 巻刊行

戦中戦後の艱難辛苦を乗り越え、昭和 30 年（1955 年）第 1 巻再刊、昭和 35 年（1960 年）全 13
巻刊行完了。約定から完成まで 33 年、編集に延べ 26 万人が従事

その後修訂作業は教え子が引き継ぐ。昭和 61 年（1986 年）修訂版全 13 巻刊行

平成 12 年（2000 年）語彙索引・補巻を加え全 15 巻完結 75 年の歳月

○著作多数「詩経研究」1912 年～「孔子・老子・釈迦“三聖会談”」1982 年（亡くなる年）

○栄誉「下田村名誉村民」（現三条市名誉市民）「文化勲章」「勲一等瑞宝章」

皇室世との関わり 皇太子明仁親王殿下（現天皇）に漢学を進講、

皇太子、秋篠宮、清子様誕生に際し名号、称号を勘申する

○座右の銘 「行不由徑」（行くに徑に由らず）大道をまっすぐに進む。急がば回れ。

○博士の号 「止軒」（しけん）止まった状態で見つめ直す。

故郷を愛し、両親の側で眠りたいと森町の長禅寺に墓地があります。

田中角栄記念館とこの諸橋記念館は多くの中国からの旅行者は殆ど来館されるそうです。

今日は時間の都合で見学頂けませんでした。博士から寄贈された貴重な蔵書などがあります図書館
もごぞいます。是非ご家族と、又来て頂ければ幸いです。ありがとうございました。

